

Powered by Highslide JS

いな ひまわりプロジェクト

「笑顔があふれるいなべ市」

5組 富永まひろ

3組 石垣奈巳

6組 中村結

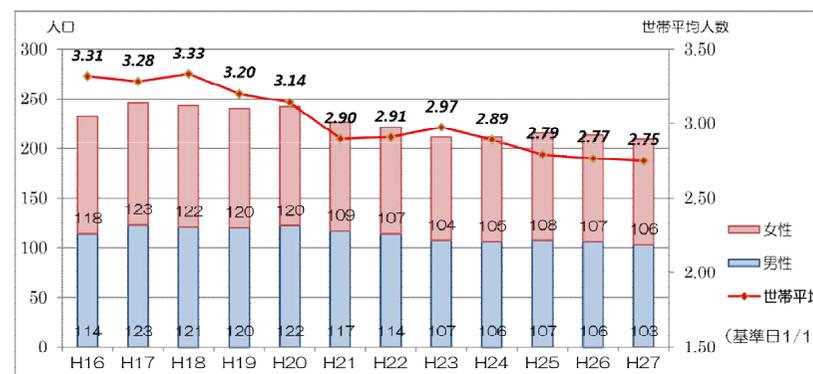
10組 神内蒼羽

【現状と課題】



【第2次いなべ市総合計画】

いなべ市の人口は横ばい状態。しかし、年少人口割合の減少、高齢者人口割合の増加が進んでいる。今後は人口減が予想される。



【いなべグリーン・ツーリズムの推進 古田地区】

山間部では世帯数が減少。

山間部では、世帯数の減少が著しい。藤原エリアでは小学校が統合され5つの廃校ができることもあり、今後ますますこれらの傾向が加速化すると予想される。

「第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査報告書」を見ると「高齢者のケア」を心配する声も多い。

【廃校予定の5つの学校】

H29.2.26 撮影

東藤原小



白瀬小



中里小



立田小



西藤原小



【方針】

「高齢者のケア」= 福祉を充実させるためには
いなべ市(行政)
福祉推進委員を中心とした取り組み
地元での支えあい
ボランティア
が必要である。



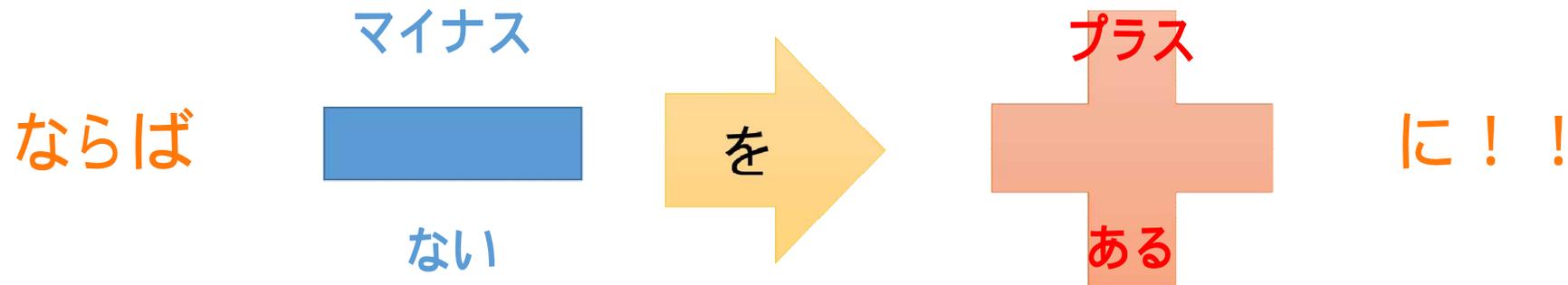
私たちは を連携させ、高齢者のニーズを知り
高校生や大学生のボランティアの力を使って藤原エリアの
暮らしのクオリティをあげ、町おこしをしたい。

同時に、若い世代の人に、里山の豊かな暮らしを伝えることで、将
来の生活の場として考えてもらい、人口増加にも繋げたい。

その上で、高齢者の方々の笑顔が花咲くためには考え方を大きく変えなければならない。

いなべ(藤原エリア)は何もない.....？

山しかない、空家と廃校しかない、高齢者しかない、ないないないないないないないないない.....



何もない.....

空家、廃校しかない.....

高齢者しかない.....

→ **何でもできる！！**

→ **新たな施設へうまれ変わる！！**

→ **経験豊かな高齢者がいる！！**

その高齢者の力を活かし、自信、安心に繋げる！！

いなべ既存ブランド(赤米、石樽茶、さくらポーク、いなべ牛)に

**いなべの里山暮らし
をプラスする**

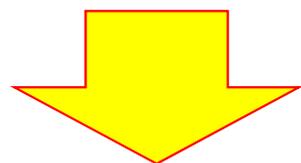
【企画具体案】 人員と費用

A 福祉推進委員のサポートメンバーとして
高校生・大学生が「い～なひまわりプロジェクト」
立ち上げる

地域の活性化に積極的な高齢者と高校生と大学生の交流を図り、
今後のボランティア計画を練る。
休耕地にひまわりの種を蒔くことから始めたい。

活動のシンボル「ひまわり」の種を蒔く
梅、あじさい(春)と紅葉(秋)の間を埋める夏の観光資源

例えば...ひまわりの種
1袋40ml→665円
100袋4000ml→66500円
高価なので、寄付も募る



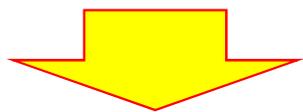
たくさんの笑顔の花が咲き、もっとたくさんの笑顔の種になる！

B 近隣の高校生・大学生の力で空家、廃校、休耕地の整理・活用し、新しい価値(財産)を生む

いなべ市には、空家があふれているが空家登録しているのは、わずか3件。

空家整理をする人がいなくて、放置されている。

高校生・大学生(・社会人)の山間部ボランティアとして、農作業に加え空家整理を募集する。
休耕地・空家・廃校が新しく生まれ変わって、いなべのブランドとなる!!



C 滞在型のボランティアを体験し、里山暮らしの良さを体感してもらう 将来的に空家や廃校を利用し、滞在場所にする

地元の人とボランティアと一緒に
いなべの未来を語る

D 里山フェス 廃校にて ボランティアに来た人に 里山暮らしに興味・関心を持ってもらう

エコストーブとは…

ペール缶を使った雑木を
燃料としたストーブのこと

参照【里山資本主義(出版社KADOKAWA/角川書店)】

製作費:6000円

- ・木材をエネルギーに変え、囲炉裏や**エコストーブ**でおいしい米を炊く、
おいしい肉を焼くなどで若者に興味・関心を持ってもらう
- ・地元の高齢者の方々にいなべの暮らしや料理について教えていただく
- ・(中学生)高校生による文化部を中心とした交流も可能
吹奏楽コンサートや演劇、お茶会など…

ひまわりの種:66500円 + エコストーブ2個:12000円
フェスの材料については地域の人に
できるだけ協力してもらう。

【実施計画】

春

- A いなべ市から大学へボランティア(ひま姉ひま兄)の派遣を依頼する
(愛知・三重を中心にボランティア活動を単位カウントできる大学・ボランティア活動が盛んな大学に協力を求める)
- B 放送部が「FMいなべ」放送で協力してくれる高齢者(ひま爺ひま婆)を募集する
さらに、計画に賛同してくれる人にひまわりを植える場所を提供していただき
ひまわりを育ててもらう
- C 高校生がSNS(ツイッター、フェイスブック等)を活用して活動を紹介・拡散する
- D いなべ市、高校生(ひまむす)、大学生(ひま姉ひま兄)、ひま爺ひま婆で
ボランティアの内容・日程・滞在場所・募集の検討をする

夏以降

- A 愛知県の大学生を中心にボランティアの募集
- B 滞在型ボランティアの実施
- C 里山フェス準備→開催
- D ひまわりの種を使って、オイル、石鹸の製作実験→製品化→販売???

一面のひまわり畑や里山フェス
空撮(ドローンの使用)で
里山の良さを拡散!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

【効果】

安心の地域づくり・・・人口減少が進む藤原エリアで空家整理、農作業の補助
などを中心とした高齢者のケアができる
高齢者の生きがいづくり・・・ひま爺・ひま婆
若者とのつながり・・・ひまむす・ひま兄・ひま姉 → 定住・移住・交流の促進

【まとめ】

廃校になる小学校を見て回ったときに、広いグラウンドに一組の父と子だけいた。
その寂しい光景を見て、若い人が集まる活気ある場所にしたいと思った。
141年間藤原エリアの子供たちを育て守ってきた小学校をこのままにはしておけない。
将来的に、人々の笑顔のあふれる場所として再生したい。そのために、里山フェスの開催地として、次に大勢のボランティアが宿泊できる施設としての利用を検討する。
ボランティアの受け入れ時に一番問題になるのが宿泊施設なので、廃校をぜひ活用したい。

